



豪州政府は新型コロナとの共生を目指す方針に転換

- 豪州で新型コロナウイルスの感染が急拡大。シドニーではロックダウンの継続でもデルタ株の感染抑制が困難な状況。
- 豪州政府はロックダウンで感染ゼロを目指す従来の方針を改め、ワクチン接種拡大によりウイルスとの共生を目指す。
- 豪州政府はワクチン接種率が70～80%に達した段階で、ロックダウン等の規制の緩和や国境開放を進める計画。
- 11月頃にもワクチン接種率の目標が達成される可能性。ワクチン接種拡大は10-12月期以降の景気回復を後押し。

豪州政府はコロナとの共生を目指す方針に転換

豪州では8月に入り新型コロナウイルスの感染が再び急拡大しています(図1)。特にニューサウスウェールズ(NSW)州シドニーでは、6月26日からロックダウン(都市封鎖)が継続されているにもかかわらず、感染力が強いとされるデルタ株の流行を抑えることが困難となりつつあります。

こうした中、豪州のモリソン首相は8月23日、厳格なロックダウンにより感染ゼロを目指してきた従来の方針を改め、ワクチン接種拡大によりウイルスとの共生を図る新たな方針を示しました。豪州の連邦政府と州政府は7月30日の会合で、16歳以上の人口に対するワクチン接種率が70%から80%に達した段階で、ロックダウン等の規制の緩和や国境開放を進める計画で合意しています(図2下段)。

供給制約の解消もワクチン接種率上昇を後押し

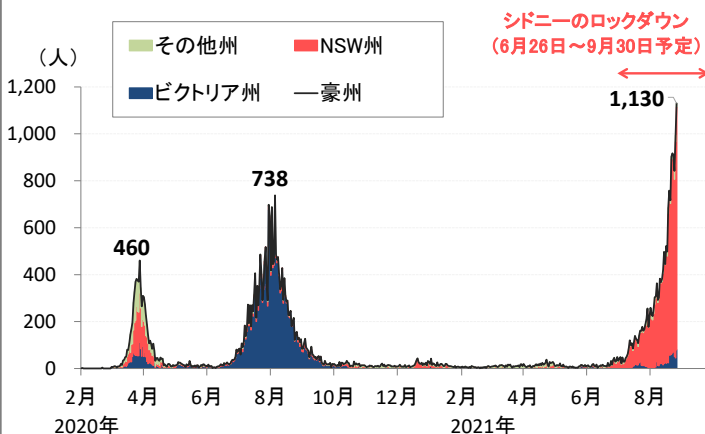
足元では豪州でのワクチン接種は加速の傾向にあり、8月26日時点では1回以上の接種比率は55.2%、2回接種の比率は32.3%に上昇しています(図2上段)。8月以降のトレンドが今後も継続すれば、豪州のワクチン接種率(2回接種)は11月頃には豪州政府が目標とする70～80%の水準に達する可能性があると考えられます。

豪州では8月30日より米ファイザー製ワクチンの若年層(16～39歳)への接種が開始されるほか、9月中旬からは米モデルナ製ワクチンの供給も開始見込みで、供給制約の解消もワクチン接種率の上昇を後押ししそうです(図3)。

ワクチン接種拡大で期待される豪州景気の回復

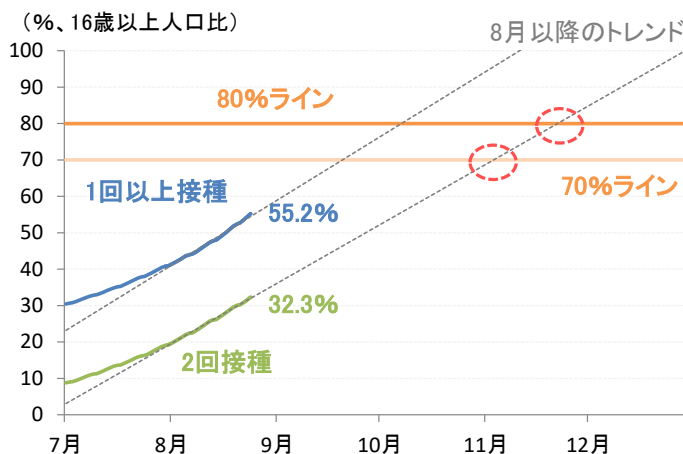
豪州の2021年7-9月期の実質GDPはロックダウンの影響からマイナス成長に転じる可能性が高まっています。もっとも、年末に向けてワクチン接種率の上昇が感染抑制と規制解除に繋がれば、豪州経済は再び堅調な回復基調を取り戻すことが期待されます(図4)。

図1: 豪州の新型コロナウイルスの新規感染者数



(出所) 豪公共放送ABC (期間) 2020年2月1日～2021年8月26日

図2: 豪州のワクチン接種率の推移



(期間) 2021年7月3日～8月26日

【ワクチン接種率の目標到達後の豪州政府の規制方針】

- **接種率70%以上:** ロックダウン実施の可能性は低下。ワクチン接種済の住民への規制を緩和。
- **接種率80%以上:** 原則ロックダウンは行わない(発動の場合も対象を限定)。ワクチン接種済住民への全ての国内規制を解除。安全な国との海外旅行を緩やかに再開。

(出所) 豪公共放送ABC、豪州政府、各種報道

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したもので、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●フランクリン・テンブルトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



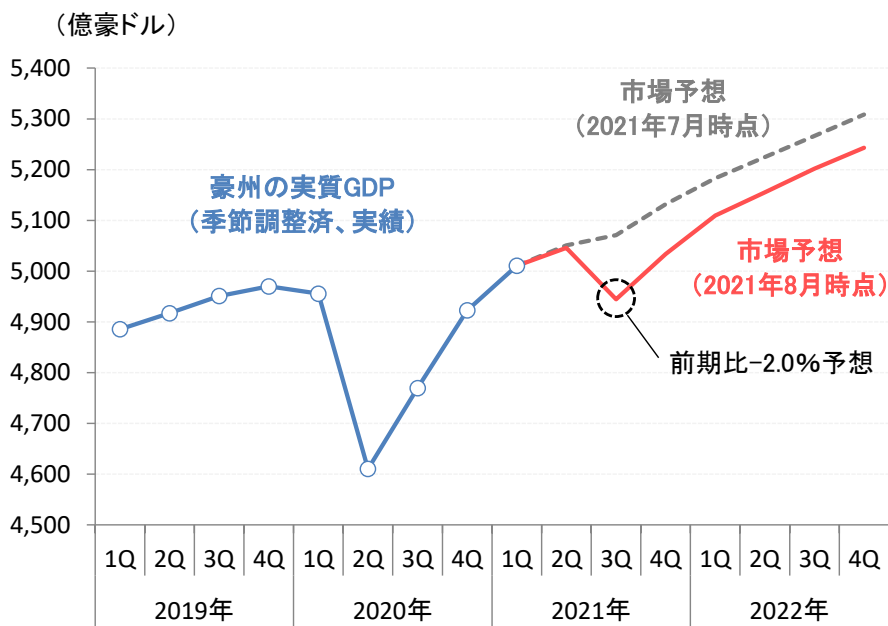
図3: 豪州の新型コロナウイルス・ワクチンの供給量

ワクチン種類別	合意済の供給量 (万回分) (A)	出荷済 (万回分) (B)	出荷比率 (B ÷ A)	注記
英アストラゼネカ オックスフォード大学	5,380	1,561.4	29.0%	5,000万回分のワクチンは 豪州国内で生産される計画
米ファイザー 独ビオンテック	4,000	1,123.8	28.1%	16-39歳の国民は8月30日より ファイザー製ワクチンの接種が可能に
米モデルナ	2,500	0.0	0.0%	豪州当局の承認が下り次第、 9月中旬より接種開始の見込み
米ノババックス	5,100	0.0	0.0%	豪州当局への使用申請は 10-12月期頃の見込み
COVAXファシリティ (国際的共同購入スキーム)	2,550	50.0	2.0%	-
全ワクチン	19,530	2,735.2	14.0%	-

当面のワクチン供給の中心

(出所)各種報道 (注)2021年8月17日時点。

図4: 豪州の実質GDPの市場予想



実質GDP (前年比) 市場予想

	2021年	2022年	2023年
8月時点予想	4.5	3.3	3.0
7月時点予想	5.0	3.2	3.0

(出所)豪州政府統計局、ブルームバーグ (注)市場予想はブルームバーグ集計(8月時点は8月26日公表)。